



下羽黒神社（大町）

筑西の文化財

水谷氏と 羽黒神社

下館城城主



上羽黒神社（岡芹）

お

羽黒さんの名前で地域に親しまれている二つの羽黒神社。その本殿などは県の指定文化財に登録されているほか、代々下館城主を務め、寺社や町の整備など城下の発展に力を注ぎ、下館の礎を築いた水谷氏と深い関係があります。

今回は、筑西の文化財である羽黒神社や、奉納された絵馬を紹介します。

下館のまちを見守る

羽黒神社

水谷氏は、平安時代中期の豪族である藤原秀郷の子孫、藤原景頼から出たと言われています。室町時代には結城四天王の一人として活躍し、文明10年（1478）に下館城を現在の本城町を中心に築城しました。

羽黒神社の由緒は、下館城初代城主水谷勝氏が領内の安全を願い、山形県出羽三山の羽黒大神を勧請したことが始まりです。城の鬼門や風門に当たる箇所につき5つの羽黒神社を建立し、下羽黒神社はその本宮として、上羽黒神社は災いが出入りする方角である天門に建立されました。ともに下館の歴史を語るうえで重要な建造物ですが、とくに上羽黒神社の本殿・拝殿の建立は様式手法から江戸時代初期とされ、当時をよく感じられる貴重な資料とされています。

主君に会いに抜け出した絵馬

羽黒神社には多くの文化財が保存されており、県指定文化財の絵馬もその一つです。この絵馬は、江戸時代前期である寛永15年（1638年）の作。木造檜材に金箔を押し、その中に彩色の馬が描かれています。水谷家九代の勝宗（備中松山城第二代城主）の武運長久を祈願して、水谷家の家老鶴見内蔵助忠俊が下羽黒神社、上羽黒神社に奉納しました。

絵馬は縦98cm、横130cm。奉納絵馬でこれほど大きいものはまれであり、水谷氏に関する史料として貴重であることから、昭和38年に県指定文化財に登録されました。羽黒神社の濱田人吏宮司は「上羽黒神社の絵馬には、備中松山へ国替えとなった勝宗に会いに行くために、夜な夜な抜け出したという伝説があります。上羽黒神社の絵馬は公開していませんが、下羽黒神社の絵馬は見学できますので、声をかけてください」と話します。



羽黒神社 濱田宮司

【問】生涯学習課（本庁3階） ☎22・0182
絵馬見学・羽黒神社 ☎24・1409

みずのや 水谷氏家系図

下館城主
水谷氏8代

① 勝氏

② 正村

③ 蟠龍斎、政村とも

④ 勝俊

⑤ 定林寺に鐘を寄進

⑥ 勝隆

⑦ 関ヶ原の戦い

⑧ 備中松山城主水谷氏3代

勝隆の代に備中松山へ国替えとなる

⑨ 勝隆

⑩ 勝宗

⑪ 家老から絵馬を奉納

⑫ 勝美

